



平成 29 年度 (第 71 回)

芭蕉祭

俳聖松尾芭蕉の偉業を称え遺徳を偲ぶ「平成 29 年度 (第 71 回) 芭蕉祭」を、10 月 12 日(木)、上野公園を中心に行いました。

芭蕉翁銅像、文学碑への献花・献菓のあと、上野公園内の俳聖殿前で厳かに式典を行いました。式典は「芭蕉祭子ども合唱団」による「芭蕉さん」の斉唱で始まり、献詠俳句特選句の披露、懸額除幕、各受賞者への表彰などを行いました。

各部門の特選句と、一般の部で入選した市内の皆さんの句を紹介します。

【応募数】 一般の部：8,821 句

テーマの部：2,152 句 児童・生徒の部：25,276 句

英語俳句の部：22 力国から 467 句 連句の部：131 巻

絵手紙：689 枚 ポスター原画：582 枚

【問い合わせ】

文化交流課 ☎ 22・9621 FAX 22・9694

一般の部 特選

▼有馬朗人 選

雁渡る天平よりの踏鞆吹

仙台市 荒木那智子

掘申持ち籠持ちほまちの若菜摘む

大和高田市 久保田珠生

▼稲畑汀子 選

筒鳥の遠ざかりゆく象の宮

堺市 徳澤南風子

夏の月仰ぎて又も庭を歩す

伊賀市 藤井充子

▼茨木和生 選

船渡御の大阪締めに權揃ふ

京都市 柳田絵美

田を植うる深き谷まで下りて行き

多摩市 田中久幸

▼宇多喜代子 選

水中に風や琉金よろめける

鈴鹿市 浜西修

乾坤を分け立ち上がるどんと火

藤岡市 木下薫

▼小澤實 選

千鳥塚暑し翁の文字の覆鏢と

八王子市 村田さやか

電気柵に猿の悲鳴や南瓜無事

大町市 竹村翠苑

▼鍵和田柚子 選

原発の町去る無念草引けり

町田市 小田中柑子

背泳ぎの車輪の腕や雲白し

浦安市 松本美智子

▼黒田杏子 選

日本の良心何ぞ原爆忌

大阪市 橋本薫

東大寺御用紅花伊賀に摘む

伊賀市 西田尚子

▼坂口緑志 選

金婚の旅路白夜の茜濃し

伊賀市 西田尚子

きららむし這ふ組紐の設計図

江南市 山口南海子

▼塩田藪柑子 選

古民家の豪商偲ぶ夏座敷

姫路市 藤本柗花

葉桜になりてベンチに深む黙

伊賀市 長谷川梅香

▼棚山波朗 選

春禽のしきり糞虫庵しづか

伊賀市 佐々木経子

しつけ糸解く晴着や菊日和

広島市 土居直子

▼西村和子 選

地藏盆正座の子等のあしのうら

半田市 矢浦みち子

泳ぎ出で天の高さを知りにけり

奈良県 日比野勇

▼長谷川權 選

地に投げて地を引くごとく独楽廻す

半田市 桑田隆行

冷奴どこを割ひてもわが昭和

むつ市 畑中継雄

▼星野椿 選

麦秋や伊賀に始まる翁径

常滑市 磯村久市

一番茶風の青さの中に摘む

鳴門市 三栖秋茄

▼正木ゆう子 選

強力荷より取り出す鏡餅

所沢市 逸見彬有

小春日や抱かれて子は充電す

姫路市 土井君江

▼三村純也 選

毛虫とる箸の先までこはばりて

堺市 内田陽子

夜の秋の虚子を話題に酌み交す

奈良市 渡辺政子

▼宮坂静生 選

豊這ふ蟻の足音椒邨忌

春日部市 小柳満

塗師蔵にさざめく漆木の根明く

松本市 大野今朝子

▼宮田正和 選

摩文仁野の松に潮鳴る沖縄忌

豊見城市 古波蔵里子

池に浸す献氷祭の御柵

伊賀市 箱林のぶ子

英語俳句の部 特選

▶加藤耕子 選(訳)

The war end day—
A young soldier's will says
"I will be a star." (終戦忌星になるてふ兵の遺書) (自訳)
Kyoko Shimizu (清水京子) / 日本

tinder-dry heathland
cracked hooves of wild ponies
exploding seedpods (種薯割る野馬のひづめ荒野地帯)
Sheila K. Barksdale (シェイラ・K・バークスデイル) / イギリス



連句 特選

▼青木秀樹 静寿美子 鈴木渚 西田青沙 共選(五十音順)
※半歌仙『夏羽織』の巻

千葉県 俳諧コミュニケーション 鈴木美奈子 捌
別ればや笠手に提て夏羽織 芭蕉翁
そつと空蟬包む掌 鈴木美奈子
写真展町家の祝並べるて 松澤龍一
煙草輪に吹く芸のひとつと 白石一有
スコップを傍らに置き眺む月
夜食はラーメンライス大盛り
秋簾よぎりし影はくの一か 龍有奈
海馬に納む企業機密を 龍有奈
踏まれたし真つ赤に尖るピンヒール 龍有奈
ため息の度好きと言はせて 龍有奈
客見ればいつものですねお爛番 龍有奈
昏き三和土に鶴が機織り 龍有奈
月に舞ふ雪と遊ぶむ北の宿 龍有奈
夢見心地に仰ぐ曼陀羅 龍有奈
新設の獣医学部は何処へやら 龍有奈
納税期でも署はひと気なく 龍有奈
成田屋のはつしと睨む飛花落花 龍有奈
紙風船に七彩の宙 龍有奈
平成二十九年七月二十四日 満尾 喫茶ルノアール



テーマの部 特選

テーマ:「日」
▼片山由美子 選

一日にして成る一村の植田かな 牛久市 笹野泰弘
教室に子ら駆け込めり日雷 伊賀市 服部登紀子

絵手紙 特選

刈谷市 堀記子



ポスター原画 特選

中瀬小学校五年 谷森春妃



お知らせ 拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

〔保育園(所)・幼稚園・小学校一〜三年〕

▼北村保・北村みち・佐々木経子・西村八洲子・松本ちい 共選 (五十首順)

げんじ蛍光るおしりをこつつんこ
 けいさつかんふゆのせいふくかっこいい
 痛いなあチクチクきゆうり持てないよ
 すすしげにせいざしているばしようさん
 じてんしゃでにゆうどうぐもへじゃんぷする
 上野西小学校一年 繁地瑞樹

たいふうのひとつめこぞうおおあばれ

上野西小学校一年 西尾修一朗

はつぼんのおまいりわたしの赤いじゆず

成和西小学校一年 おくむらりようだい

みそしるにばくのオクラが入ってる

上野西小学校二年 辻岡明莉

打ち上げた花火がむねにとびこんだ

友生小学校二年 脇坂弥希

ベビーカーおしてる人の麦わらぼう

依那古小学校三年 森おかみちる

ブランコで遠くのひまわり見つけたよ

上野西小学校三年 森岡千晶

三訪小学校三年 阪口めい



〔小学校四〜六年〕

▼下村哲朗・土井陽代・浜地和恵・藤井充子・山村勝子 共選 (五十首順)

ぼくが手で植えた田んぼの稲にもほ
 父さんと指さしさがす白鳥座
 炎天下勝負に負けて出るなみだ
 俳聖殿うらの木の根に梅雨茸つゆきのこ
 川の水せきとめあゆのつかみどり
 母の日にかわいいピアスプレゼント
 盆おどり指さきかざす夜の空
 優勝を仲間とつかみ汗光る
 とんぼとぶそらに向かつてボールける
 友生小学校四年 廣澤一晟
 上野東小学校四年 曾和こころ
 成和東小学校四年 並川百那
 上野東小学校五年 中井とあ
 上野西小学校五年 前田愛奈
 半田市立有脇小学校五年 藤澤柚希
 友生小学校六年 橋本星七
 上野東小学校六年 榎野愛美里
 西柘植小学校六年 杉野綾星

〔中学校・高等学校〕

▼喜多富美・坂石佳音・永井みよ・東構東子・福山良子 共選 (五十首順)

カラコンコロンのぞいてみたよラムネ玉
 島ヶ原中学校一年 梶川陽向
 かがり火と鶴匠の烏帽子風にゆれ
 崇広中学校一年 磯尾和希
 直売所富士山見ながら桃試食
 崇広中学校二年 徳井快香
 見上げれば夏草の中廃校舎
 阿山中学校二年 長谷唯由
 カタコトの英語でかわす夏の海
 宇陀市立室生中学校二年 服部あきは
 時を継ぐ祭り道具の土用干し
 崇広中学校二年 鶴田開土
 指揮棒が導く夏のファンファーレ
 霊峰中学校三年 中村宝寿
 サンダルのかかと鳴らせば夏来たる
 津市立南が丘中学校三年 勝井七海
 走り出す海に向かひて咲く玫瑰はまなす
 愛知県立安城高等学校三年 角谷天海
 春深し葉書の余白を埋める夜
 福岡県立修猷館高等学校三年 雪吉千春
 ヨットの帆風と期待をゴールまで
 愛知県立碧南高等学校一年 岩月愛望



一般の部 入選

※伊賀市在住の人のみ掲載しています。

▼有馬朗人 選

佛飯の湯気の豊かに田植済む
あかときの雨の茅の輪の匂ひたつ

山本智子

▼稲畑汀子 選

ペダル踏むこともりハビリ町薄暑
米寿まで自筆続けむ暑気見舞
心まで回復したる昼寝覚

子日康子

啼き止むも啼き加はるも蝉しぐれ
百千鳥朝の英気をもらひけり
骨折れてヘナヘナなりし古団扇

永井二紗子

▼宇多喜代子 選

草笛を吹く少年の一呼吸

下村哲朗

▼小澤實 選

蟋蟀の子着地失敗何度でも
測量土片手を上げて陽炎へる
二ヶ月後胡瓜の苗が背を越した

池本準一

▼鍵和田柚子 選

結び上がる茅の輪に神の宿りけり
寿貞碑に日の斑こまやか翁の忌

永井みよ

▼黒田杏子 選

草笛を鳴らす少年心閉づ
おごそかに初日拝みて健やかに

森永康子

山よしゑ



▼坂口緑志 選

キャンプ一家石炉に朝の麵麩焦がす
石工の鑿音高き大暑かな
修正会の庭に遊べる尉編

土井陽代

風鈴へ句を吊り忍者下駄を売る
稲屑火の火より夕づく伊賀の峽
鳥になり魚になりたる水遊び

古賀町子

▼塩田菰柑子 選

原爆忌核廃絶の道遠き
横綱の未踏の記録夏光る
リハビリに心も癒えて青き踏む

森本禾穂

▼棚山波朗 選

かたつむり表札一字かくしけり
接心の鐘万緑に吸はれけり
おぼしまの翁の座像夏の川

松尾紀子

菜穀火の盆地の風に高まれり
ふんはりと蛩の灯り見えかくれ
沙羅の花庭のかそけき山の寺

北田美智代

▼西村和子 選

Tシャツは忍者のデザイン夏に入る
夏草にやつるるままの生家かな
鶯餅余の一つをじゃんけんぼん

橋本米子

▼長谷川權 選

美しく皿に残骸焼秋刀魚

藤下恒星

▼星野椿 選

白白とマーガレットの花の風
水打って縁台將棋始まれり
夏足袋の踊るかたちに干されたり
畑まはり見るたのしみや茄子の花
虎杖の花咲く峠越えて来し

松井和子

北出たてを
岡島千秋
尾崎ミチ
藤井充子

▼正木ゆう子 選

巢燕を蛇より護り切れざりし

久保善信

▼三村純也 選

水打ちて一見客を入れぬ店
反則も笑ひの区民運動会
まさなる空に玉解く芭蕉かな

北出たてを

▼宮坂静生 選

虫篝黄泉の炎となりにけり

岡田節

▼宮田正和 選

沙羅の花散るその刻を誰も知らぬ
玉解きて芭蕉大きく風抱く
山巖に雲の流るる晩夏かな

森永康子

黒揚羽木下闇より剥がれきし
照りつくや四葩ひと雨欲しさうな
一ト声は鋭き威嚇梅雨鴉

中嶋國博

雨音のまにまに鳥語梅雨に入る
一人には余る夕日を刈田道
月涼しそびゆ梅の影を濃く

山下久美

▼片山由美子 選

巻き上げし簾に残る日の匂ひ
山茶花を掃くには惜しき今日の庭

米野てるみ

西田ゆかり

中西昭子

服部登紀子

菊山時子

松本慶子



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など